

# 令和5年度クラブ(同好会)活動状況調査報告書

2024, 2, 19 福島県公立学校退職校長会

## 1 調査の趣旨

今春(令和5年)より3年半にわたり世界中に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症への対応が「新型インフルエンザ等感染症2類相当」から「5類感染症」に移行され、法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し個人の自主的な取組みをベースとした対応に変わった。これに伴い各支部においては、これまで自粛していた会員相互の交流と親睦を目的としたクラブ(同好会)活動が徐々に再開されつつあると考えた。

このような状況下、各支部におけるクラブ(同好会)活動について調査し、県全体の状況を把握するとともに、調査結果を会員に報告し、本会目的のひとつである「会員相互の旧交をあたため、生活の向上を図ること」(本会会則第2条目的)のさらなる達成のために活用していただきたいと考えた。

## 2 調査内容・方法

### (1) 調査内容

- ① 各支部におけるクラブ(同好会)活動の有無
- ② 各支部における令和5年度クラブ(同好会)活動計画の概要

### (2) 調査方法

- ① 全支部に「調査依頼書」を送付し、回答を得る。

## 3 調査結果の概要

### (1) 会員相互の親睦や交流を目的にしたクラブ(同好会)の有無

- 「ある」と回答・・・14支部 福島、伊達、安達、郡山、岩瀬、石川、西白河、東白川、北会津、  
耶麻、両沼、相馬、双葉、いわき
- 「ない」と回答・・・2支部 田村、南会津

### (2) 現在のクラブ(同好会)数と令和2年度の数との比較

- 「増加」と回答・・・2支部 北会津(0→1)、耶麻(3→4)
- 「変わらない」と回答・・・5支部 郡山、石川、東白川、両沼、双葉
- 「減少」と回答・・・7支部 福島(10→8)、伊達(3→2)、安達(2→1)、岩瀬(4→3)、  
西白河(3→2)、相馬(8→6)、いわき(8→6)

### (3) クラブ(同好会)の設置状況

#### A 運動系 ※ ( )内は会員数

- ① 『ゴルフ』9支部・・・福島(14)、岩瀬(30)、石川(23)、西白河(23)、東白川(11)、両沼(9)、  
相馬(29)、双葉(24)、いわき(31 含双葉9)
- ② 『ウォーキング・登山』3支部・・・福島(8)、耶麻(6)、双葉(4)
- ③ 『グラウンドゴルフ』2支部・・・岩瀬(14)、耶麻(3)
- ④ 『パークゴルフ』1支部・・・相馬(14)
- ⑤ 『ターゲットバードゴルフ』1支部・・・いわき(14)
- ⑥ 『卓球』1支部・・・郡山(12)
- ⑦ 『テニス』1支部・・・福島(10)
- ⑧ 『スキー』1支部・・・北会津(10)

#### B 文化系(非運動系) ※ ( )内は会員数

- ① 『囲碁』8支部・・・福島(30)、伊達(3)、郡山(26)、岩瀬(10)、西白河(6)、  
耶麻(9)、両沼(7)、いわき(9)
- ② 『園芸』5支部・・・郡山(18)、石川(4)、東白川(16)、相馬(9)、いわき(10)
- ③ 『写真』3支部・・・福島(10)、安達(4)、郡山(16)
- ④ 『郷土史・文化財』2支部・・・福島(4)、石川(15)
- ⑤ 『文芸』2支部・・・伊達(3)、相馬(4)
- ⑥ 『麻雀』2支部・・・東白川(5)、両沼(11)
- ⑦ 『書道』1支部・・・郡山(5)
- ⑧ 『詩吟』1支部・・・郡山(6)

- ⑨ 『山野草』 1 支部 …… 東白川(6)
  - ⑩ 『陶芸』 1 支部 …… 福島(4)
  - ⑪ 『謡』 1 支部 …… 耶麻(2)
  - ⑫ 『将棋』 1 支部 …… 相馬(10)
  - ⑬ 『旅行』 1 支部 …… いわき(16 含双葉 1)
  - ⑭ 『絵画』 1 支部 …… いわき(14)
  - ⑮ 『書道絵画』 1 支部 …… 石川(4)
  - ⑯ 『つり』 2 支部 …… 福島(9), 相馬(10)
- (4) クラブ(同好会)が「ない」と答えた支部における会員相互の親睦や交流を目的にした行事  
 田 村：4月総会後の懇親会。現職校長との交流会を兼ねた懇親会。秋の研修会。  
 南会津：毎年10月にパークゴルフ大会(研修会)を退公連と共催で実施。(コロナ禍は開催せず)
- (5) その他  
 安 達…クラブ(同好会)は厳しい状況にある。理由としては、  
 ○ 本会でなくとも地域の各種サークル、団体に所属し活動している。  
 ○ 高齢化が進み、クラブ所属員が活動できなくなってきた状況がみられる。  
 ○ 若い会員は、再任用等により入会する状況にない等が考えられる。

#### 4 調査集計の詳細・・・別紙(次頁)

#### 5 所感

- (1) 各支部では、実情に合わせてクラブ(同好会)を開設し、会員相互の交流と親睦、さらには、研修に取組まれていることを改めて知ることができた。
- (2) 運動系では、ゴルフ系のクラブに、文化系(非運動系)では、囲碁クラブ、園芸系クラブに比較的多くの会員が参加されている。
- (3) 写真クラブ、絵画クラブ、書道クラブ等においては、作品発表の場を設け、クラブ(同好会)内だけでなく他の会員や地域の方々にも鑑賞の機会を設け交流等を重ねている。
- (4) 詩吟クラブや謡クラブ等においては、今後も成果発表の機会を設け、活動への理解を深めるとともに新たな部員勧誘の場ともしたいものである。また、地域の同好者や団体との交流をいっそう推し進め、文化の伝承に取り組んでいただければと考える。
- (5) ウォーキング・郷土史・文化財クラブ等においては、時には合同で活動する機会を設ければ、単一の活動と比べ活動内容に幅が生まれるとともに交流の輪も広がるように思われる。
- (6) 本会は、会員の高齢化と減少傾向の中にあるが、各クラブ(同好会)においては、今後とも魅力ある運営に努められ、活動の継続に尽力していただければと考える。
- (7) 活動日の一部を週末等に計画するなど、再任用で勤務している会員がクラブ(同好会)に加入参加しやすい環境づくりと配慮が求められると考える。
- (8) 各支部においては、本調査報告書を活用され近隣支部等との情報交換・連携を図られ、これまでも増して活動の充実につなげていただければと考える。
- (9) 本調査報告書は、本会ホームページに掲載します。各支部においては、その旨会員に周知をお願いします。コロナ禍の中、自粛を強いられてきたクラブ(同好会)活動が再び活発に行われ、本会目的が具現されるよう今後とも各支部挙げて取り組んでいただくことを切にお願いしたい。